

人口と世帯数

52年11月末日現在

総人口 13,910人

男 6,887人

女 7,023人

世帯数 3,127戸

広報



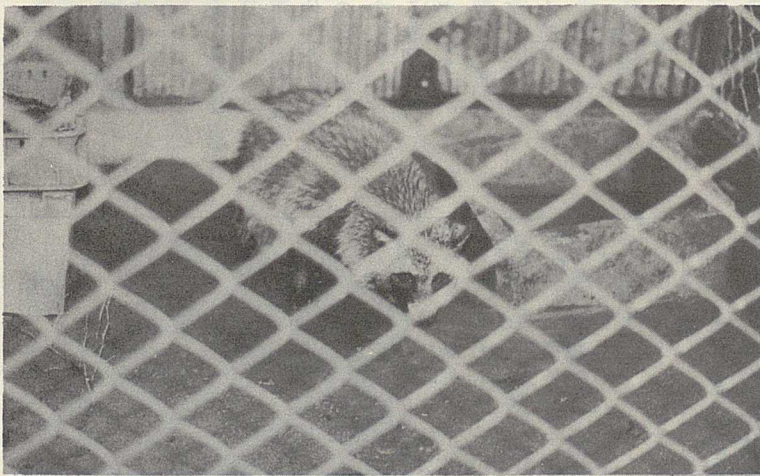
たまぐり

第209号

昭和52年12月15日

(毎月1回発行)

“たぬ公、御用、次の日はドロン！”



▲書き置きして(?)消えた、ありし日の姿(12/2撮影)

——天竜荘の
小屋から——

老人いこいの家「天竜荘」に十二月一日の朝親だぬき(オス)一匹がとどけられました。とどけたのは加茂の関口早雄さんで、お話によると、さる十一月二十五日に、駅近くの線路下のハス田に泥だらけに首までつかり、つかれきっていた「たぬき」を二人がかりでつかまえたとのことだ

たぬきの出没に気づいたのは十月の稲かりの頃から。たまたま野生のたぬきが餌あさに近く、山の山からおりてきたところ、田の深みにはまり御用になったもの。「天竜荘にこられるお年寄りの皆さんに見ていただければ」と思いたち寄贈されました。小屋をつくるのにつかう材料は井川芳男さんが提供され、たぬ公は無事小屋におさまりました。

ところが次の日、食事をやろうとして見てみると、たぬきの姿が見えませんでした。後に「書き置き」が?「この人はみな親切に住むのにこんないいところはありません。しかし、あとに残してきたものが気がかりなので、誠に申しわけありませんがお暇をいただきます—タヌキより」と、想像をはたかせてみると相手が夫婦仲の良い「たぬき」だけに、うなずけそうなところ。ところが一週間後の九日に「たぬき」もどつてきたとの知らせをうけて行ってみると、再び小屋の中にたぬ公が。「小屋の中がさびしいので、北浦の小貴から「養子」をむかえました。皆さんどうぞご覧になってください」との関口所長の弁。たぬき騒動まずは一段落。

鹿行地方県民集会の提言	2
年末年始交通事故防止運動実施中	3
新田部落親和会と和らぎ会が交歓会	4
“上宿・川向、チーム二年連続優勝	5
財政事情書	6.7
施設紹介(浄水場)	8.9
おしらせ(国民年金だより・駐在所だより)	10.11
くらしの豆知識、出産・死亡	12

主
な
内
容

77/12月号

豊かな郷土づくりに

鹿行 県民集会の提言

「農漁村のしきたりや風習を見直そう」など

鹿行地方県民集会は、このたび昭和五十二年度の提言をまとめました。提言の内容は住民自らが行うべき実践活動・住民運動についてのものが五項目、行政側に対するものが五項目です。

この県民集会は、地域のかかえている課題について、県民自らが話し合い、自分達でできるものは自分達でやり、行政側（町や県）にしてもらわなければならないものは行政側にやってもらうように提言するための集りで、昨年の十二月に発足しました。

次にその内容を紹介します。



知事を交えて
(鉢田合同庁舎で)

新しい発展の時代を迎えて激しく変動する社会の中で、私たち県民の望んでいるもの、求めているもの等の「声」は、いままでは行政側の用意した「懇談会」「対話集会」といった集りに対応する形で進められてきました。

しかし、いままで行われてきた行政参加の形態には、地域の課題を「県民」と「行政側」とが一緒になって将来の展望を考え、解決するという積極性に欠けていたことも事実です。

提言

- ▶ 住民自らが行うべき実践活動、住民運動は
 - 農漁村のしきたりや風習を見直そう。
 - 家族で話しあい、余暇をつくろう。
 - 心のふれあいは、朝夕のあいさつからはじめよう。
 - ふるさとをきれいにする運動に進んで参加しよう。
 - 区民集会、町民集会をつくり、ふれあいを深めよう。
- ▶ 行政側へは
 - 《町に》
 - 農漁業の後継者を育成するために『農漁業後継者育成協議会』を設置する必要がある。
 - 農業後継者育成のため、農業協同組合の営農指導の充実強化について配慮する必要がある。
 - 《県に》
 - 『農業後継者育成基金』の設置について、検討する必要がある。
 - 『農漁業後継者育成協議会』の設置指導及び事業活動に対する援助方策を検討する必要がある。
 - 農業後継者育成のため『移動農業大学』の開設について検討する必要がある。

（宿）、田山幸江（若海）の四名の方々が会議員になっていきます。

当鹿行地域は、臨海工業地帯としての新しい都市化が進んでいるが、そのほとんどは農漁村で占められています。従って、農漁業問題は地域住民の生活に密着しているため、その振興をはかることは極めて重要な課題です。

その認識にたつて、県民集会の提言テーマを『第一次産業の後継者育成のために』と

定め、さらに最近の社会経済情勢の変化が地域の連帯と協調性を弱めつつあることから『心のふれあい』のこの二つのテーマが定められました。

各会議員は、このテーマのもとに関係者の参加、協力を得て町村会議員会議を開き、また三回にわたる鹿行地方県民集会において討議を重ねました。

まず『第一次産業の後継者の育成のために』では、農・漁業をとりまく現状が兼業化の進行、若年労働力の流出等により後継者の確保・育成が切実な問題となっているところから、農漁業経営の不安定性、結婚問題、営農指導の充実強化などの意見や実例が出されました。

また『心のふれあい』では、家庭におけるこどものしつけ、道徳教育の推進、毎月月の奉仕活動、地域ごとの集会組織づくりなどが出され、これらの意見や実例をまとめて、このたびの十項目の提言のはこびとなりました。

みなさんもこの主旨を理解され私たち自らが行うべき実践活動に積極的に参加しましょう。

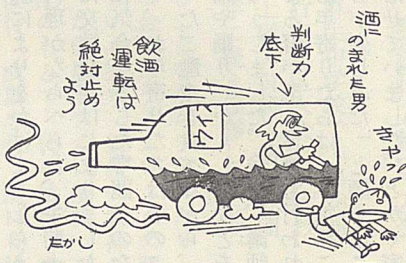
年年初末

の交通事故防止運動実施中

十二月十日から一月十日まで

とくに多い
スピード違反

ふだん落ち着いて走る先生までも走り出すという十二月（師走）——忙しいドライバーも歩行者もつい不注意になりがちで、交通事故も急増します。昨年十二月の交通事故による全国の死者は八百六十八人で月別の最高でした。死亡事故のトップはスピードの出過ぎによるもので、例えば、車が六十キロを越えるスピードで歩行者をはねたとしますと、歩行者の死亡する可能性は九十%に達します。



注意力が鈍る

飲酒運転の恐ろしさは、一般的には理解されているが、「何のこれくらい」「この程度なら何んでもない」「自分は大丈夫」という人が多いようです。

ところが、酒を飲むと、自分では大丈夫と思っていても、理性や判断力が怪しくなり、運転中、大切な情勢を見落したり、危険な状況を見ても危険と思わなくなったりとんでもない運転を平気で続けたりします。

そこで飲酒運転追放のため

郡内の事故発生状況 (S.52.12.5現在)

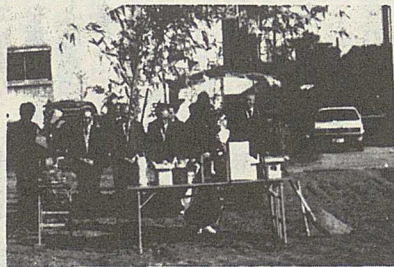
	発生件数	死者	傷者
麻生町	66件	7人	77人
潮来町	124件	4人	170人
牛堀町	23件	0人	29人
北浦村	33件	4人	40人
玉造町	58件	4人	102人
計	304件	19人	418人

○地域、職域、家庭ぐるみの監視を強め、飲んだら乗らない、乗るなら飲まない、乗るなら飲ませないの「三ない運動」を心がけましょう。

玉造中

柔剣道場が着工

玉造中学校柔剣道場の起工式が十一月十二日行われ着工しました。総工費二千八百九



▲ 起工式のもよう

十万円をかけて来年の三月完成めざし、いま工事が急ピッチで進められています。

体育館わきに建てられる柔剣道場は、建物面積が三百七十四・九八平方メートルの鉄骨造りで、剣道と柔道の二面が同時に使えます。

毎年玉造中学校で開かれる「近隣町村中学校剣道大会」も年々盛んになってきましたが、競技を行なう本格的な柔剣道場がないために、やむなく体育館を使用してきました。

そうしたなかで、さる六月鹿島で行われた「県東地区球・格技大会」において玉造中は剣道で男女ともに三位の成績をおさめており、その充実ぶりからも柔剣道場建設の要望が高まっていました。

完成後は一般にも開放される予定で、スポーツ教室など社会教育面からもこのたびの建設が喜ばれています。

羽生小屋体も

来年三月完成目ざして、最後の羽生小屋内運動場の建設が始まり、その起工成が十一月二十四日に行われました。

総工費四千九百万円をかけて建てられる屋内運動場は、床面積六百十五・一四平方メー

新しい運営委員決まる

国民健康保険

任期満了にともない、国民健康保険の新しい運営委員が決まりました。

委員の方々は昭和五十二年十月一日から二年間御骨折りいただくことになりました。

《新運営委員》

○被保険者代表
西谷徳次、出沼忠義、堤武雄、根崎幸雄、船串正

○保険医、薬剤師代表
関野吉朗、根本関一、塙芳郎、宮本伝重郎、甲谷巨

○公益代表

鈴木馨、田宮照光、鈴木新吾、若泉利夫、福田善衛門（敬称略）

なお、おやめになられた金塚憲吉さん、甲谷邦義さんには十八年間、貝塚国男さんには六年間、運営委員として御骨折いただきました。御苦勞様でした。

トルで、完成すれば町内の全小中学校に体育館が出来あがることとなります。

新田 老ク 母ク
部 親和会と和らぎ会が交歓会

『』のつながりもとめて

若いお母さんたちとお年寄りたちの楽しい交歓会が十一月二十日に新田部落で行われました。この交歓会は新田の老人クラブ「親和会」（会長 崎正巳さん）とお母さんたちで作っている「和らぎ会」（会長 野原アサ子さん）との間で、毎年秋にもたれています。「和らぎ会」のお母さんたちが「親和会」のお年寄りたちを招待し、手料理をご馳走するという形で八年前から行われています。

この日を楽しみに

この日参加したのは合わせて八十三名。新田公民館のテ



仲よく夫婦で合唱

ーブルには、朝はやくから「和らぎ会」のお母さんたちが腕によりをかけてこしらえた料理がならべられ、午前十時に交歓会がはじまりました。和気合々とした雰囲気の中、お年寄りたちは心のこもったご馳走を食べながら、民謡や踊り、かくし芸などを披露しました。途中、講師による軽い老人体操も行われ、お年寄りたちは、「毎年この日が楽しみだ」と顔をほころばせていました。とかく家庭の中でさえ引きこもりがちなお年寄りたちに、世代の断絶や違いを乗り越えて、お互いに理解し合うなかで、ここををうちあける場をもとと考

えて始まり、いまでは、形式的な集りでは味わえない親しさのつながりがもたれています。

和らぎ会とは

この交歓会を支えている「和らぎ会」は、新田のお母さんたちで構成されている自主的なグループで、現在会員が四十七名。当初（昭和四十三年）町の「婦人学級」の一つとして発足しました。毎月豊安寺で集りを持ち、教養を身につけようと始めたところ、お母さんたちの評判がよくて二年間婦人学級を続けることになりました。そして、この学級で学んだ成果を高め、さらに続けていくためには、部落の事情や参加する人の要望や要求が上手にくみこまれるグループの集りをつくること、が大切なのではないだろうかという素朴な意見が出されました。この機会に、自分達で自主的に教養を身につける場をもとと、「和を以て尊しと為せ」という教えを柱に「和らぎ会」が生まれたわけです。

足あとを綴りに

「和らぎ会」は毎月定例会を持ち、「自分たちで学習しよう！」という意欲に燃えて

さる十月三日、玉川地区百里基地隊員の方々に献血に住む田中美恵子さん（十六才）がファロー四徴兆候という、心臓病のなかで最も重なり手術が必要となりました。ところが、手術には多量の輸血を必要とするため、家族の依頼をうけた町では

愛の献血

田中さんの御両親はじめ町関係者もこの尊い愛の献血に深く感謝しています。

俚謡講座

野良着姿が晴れ着に変わる娘島田の松の内 令音
孫も成人皆孫も抱いて家内そろって恵比須講
雪に抱かれて心の内が赤く燃えてる寒椿 秋扇
家内揃って目出たく迎う年のはじめの雑煮膳 正人
「外」
いつか真面目な話が外れて笑いばかりの三夜講
鬼は外よと豆まく腕に抱いた初孫福の神 正花

「上宿・川向」チーム二年連続優勝

第28回県消防ポンプ操法行方地区大会

さる十一月十日に麻生町麻生中学校で「第28回茨城県消防ポンプ操法大会行方地区大会」が行われ、自動車ポンプの部で「上宿・川向」（第三分団第三部）チームが、見事昨年に続き優勝しました。

出場したのは、行方郡内の各町村の代表チームで「自動車ポンプの部」「小型動力ポンプの部」それぞれ六チームです。玉造町からは十月二十七日に行われた町のポンプ操法大会において優勝した「上宿・川向」チームと「西蓮寺」チームが出場し、日頃の技を披露しました。

書の額を消防署へ

栗原静香さんが寄贈

内宿で書道を教えている栗原静香さんより、このたび行方北部消防署に見事な書の額が贈られました。「無我」と草書で書かれたもので、これは静香さんの社中展である「静雲会書展」に出品した作品

みょう荷に赤い花が

突然変異？

「みょう荷に赤い花が咲いた」という知らせを受け、さっそく出かけてみました。上宿の江橋伸治さんの庭先に植えてあるみょう荷の苞から真っ赤な花が咲き、近所で話題になっているとのこと。十一月の始め頃から咲きはじめてらしいとのこと、取材におつれたときには口コミの早さで、多くの方が来てそのめずらしさに一つ一つもぎとり残っていた

のはわずか三つばかりになっていました。みょう荷には淡黄色の花が咲くのが普通です。赤い花が咲くのは、突然変異によるものか？ または土壌の影響によるものか？ 奥さんのきよさの口からは「昨年みょう荷を移しかえたばかりで、見つけたときはあたり一面真っ赤な色にびっくりしました。浜の方からも七〇歳になるおばあちゃんに是非見せたいからと、もらいに来ました」と不思議そう。伸治さんも「いままでこんなことはじめてだ。東京の大病院の先生も研究したいからと写真を送ってくれるように依頼された」と語っていました。

りの目をなごませているとのことでした。

署長室にさられた額



待つ身佗しい時雨の炬燵外は落葉の音ばかり 文江
縁に持ち出す張替障子 かもめ
「折句 はつふゆ」
派。手に飾って積み出す初船は新造で行く恵方 幾代
初め逢うたは吊り橋でし 二人の心も揺れました 夜蝶
晴れてつれ添う月日も間近 二人くらしの夢語る 翠峰
春の息吹きにつんつん土筆 富士の高嶺の雪を見る 日差
「数字随意詠込」
横町通れば二階の三味に合わぬ音痴の三下り 竹堂
更けて三つ四つ叩いた木戸に忍ぶ夜寒の影一つ 青声
いつか二人で迷った道を無事に乗り越え見る高嶺 まさる
一度二度ならはてなの時雨三度さてはに立つ噂 乙音

奉仕する「善意の1円」
 今年のお年玉つき年賀はがきの発売枚数は二十六億五千万枚で、そのうち五億枚には1円の寄付金がつけられています。昭和五十二年度は、みなさんの「善意の1円」がみどり、四億五千六百十一万円の金額になりました。

この貴重なお金は、社会福祉の増進を目的とする団体をはじめ全国七十七団体に配分されました。

財政

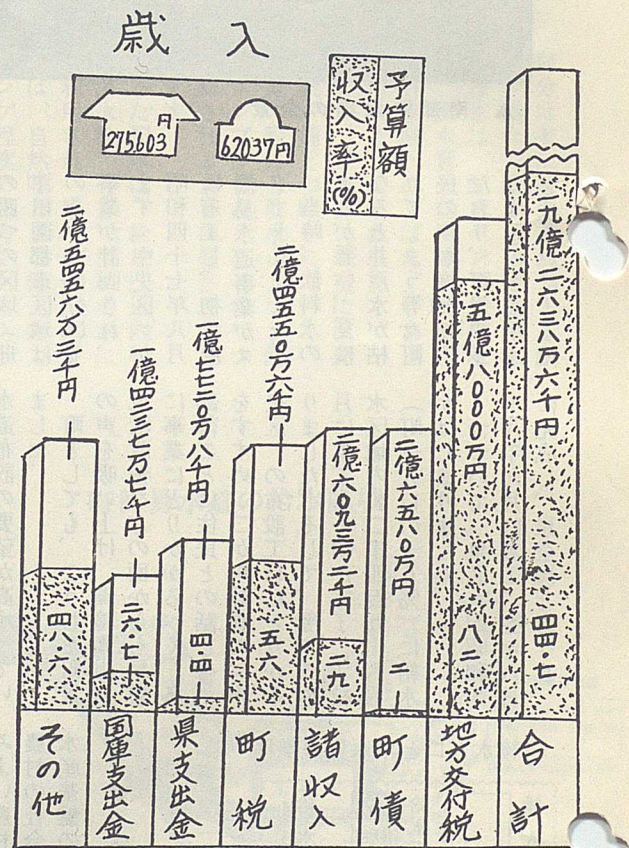
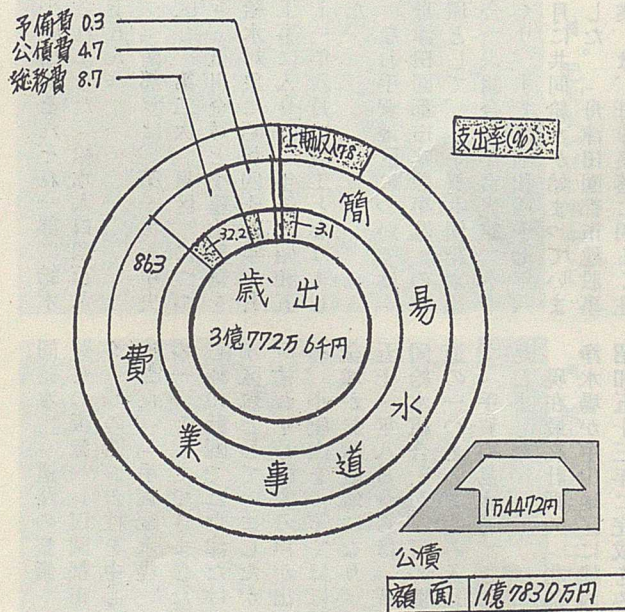
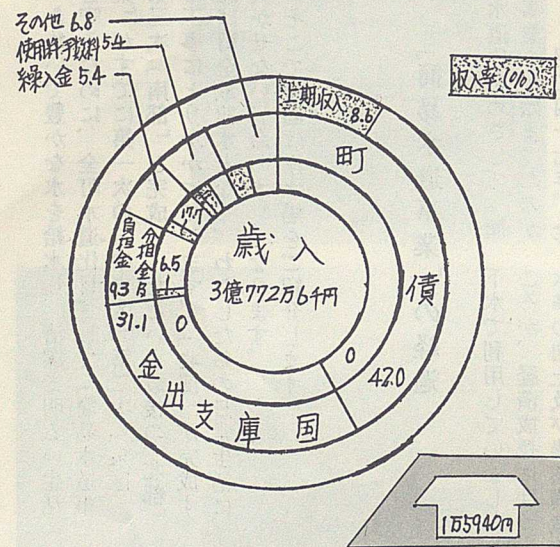
昭和52年4月
 一般会計の

事情書

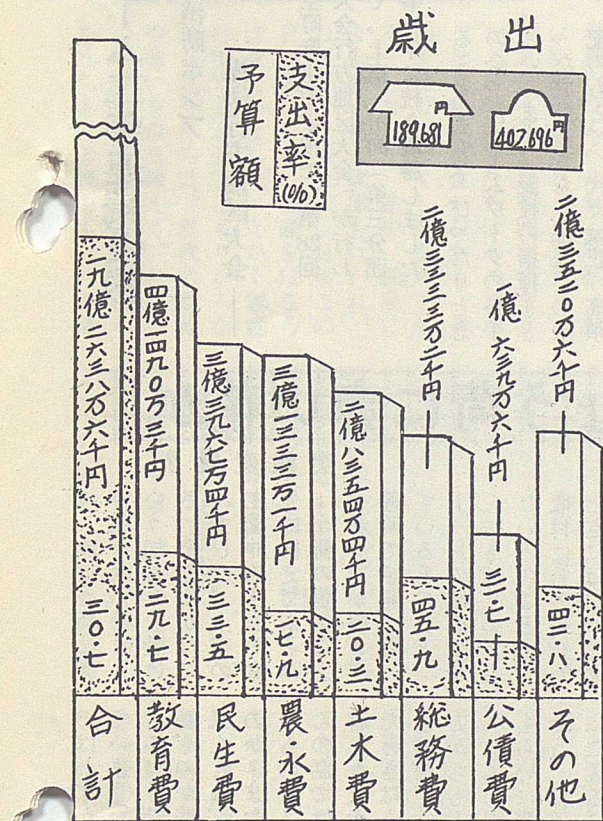
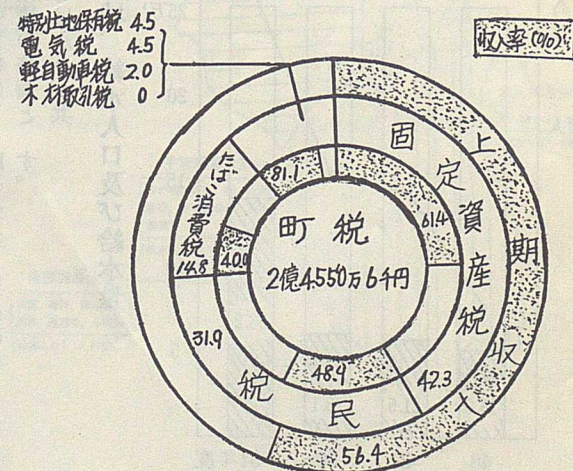
1日～9月30日
 歳入歳出状況

「財政事情書の作成及び公表に関する条例」の定めるところにより、昭和52年4月1日より9月30日までの町財政事情書が公表されましたので、ご紹介いたします。

水道事業の歳入歳出状況



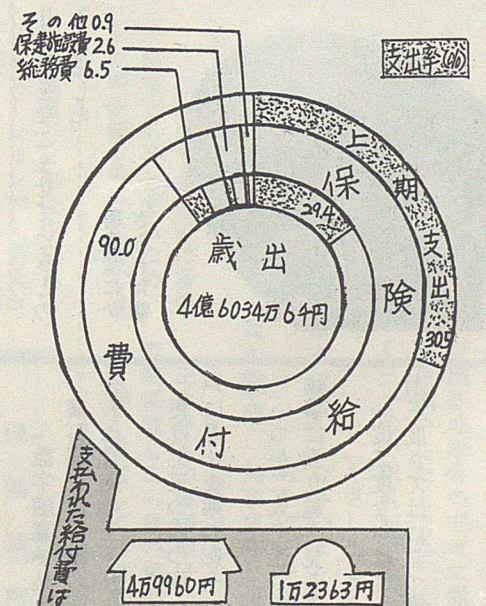
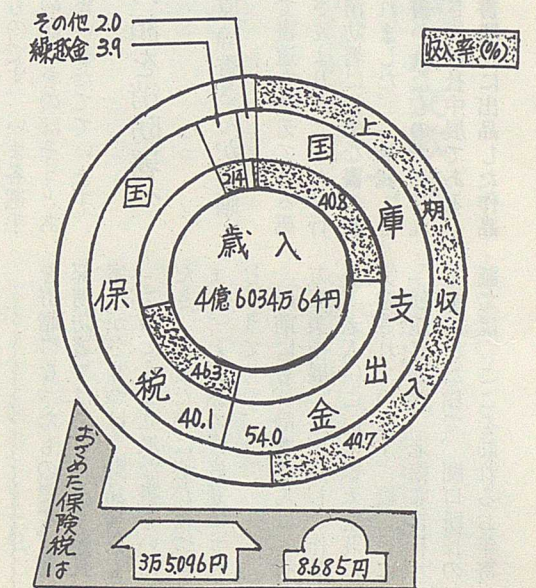
町税の状況



公債の状況

額面	今期借入	今期支払
7億7973万円	400万円	1407万54円

国民健康保険の歳入歳出状況



付加保険料で より豊かな 老後を

付加保険料は、「より多くの保険料を納めて、より高い年金をうけたい」という加入者の要望にこたえて設けられたものです。

付加年金に加入すると、定額保険料二、二〇〇円のほかに付加保険料四〇〇円を合わせて、一か月二、六〇〇円を納めることになります。

加入期間は、一か月でも一年でもよく、加入期間に応じて付加年金（納めた月、一か月につき二〇〇円）が定額年金に加算されます。

国民年金の老齢年金は、原則として25年以上保険料を納めることによって、年金をうけられることになっています。そこで、この25年間、付加年金に加入して保険料を納めま

すと、年額六〇、〇〇〇円の年金が加算され、定額の四二六、七〇〇円を合わせた四八六、七〇〇円の老齢年金がうけられます。

この付加保険料を25年納めると、その総額は一二〇、〇〇〇円です。年金をうけはじめてわずか二年で「も」とがとれる勘定です。

中小企業で働くみなさんに

で貸付をー



- ◎協 組合組織のな
- ◎信 い中小企業で働
- ◎労 働く方が、労働金

- 一庫から住宅資金、生活資金、育英資金等の融資をうけたい場合、労働者信用基金協会（労信協）
- 生活資金貸付（無担保）
- 用途 生活費全般（耐久消費財購入、教育、医療冠婚葬祭、住宅修理、借金返済など）
- 融資金額 三万円以上四〇万円まで（一万円きざみ）

- 住宅資金貸付（土地・建物担保）
- 用途 土地建物の購入、新築、増改築資金
- 融資金額 五〇万円以上一〇〇〇万円まで

免除の対象となる自動車は、身体障害者及び精神薄弱者（以下「身体障害者等」という）が取得し、又は所有する自動車で身体障害者（精神薄弱者の方へ）が自ら運転する場合です。

さらに、身体障害者等の通学、通院、生業のために生計を同一にする者が運転する場合も対象となります。

の信用保証があればスムーズに受けられます。

融資の内容は

- 住宅資金貸付（土地・建物担保）
- 用途 土地建物の購入、新築、増改築資金
- 融資金額 五〇万円以上一〇〇〇万円まで

自動車取得税

が免除に

なお、身体障害者等の年令が一八歳未満のときは、その身体障害者等と生計を同一にするものが自動車取得税、所有する場

合で あつても 免除の範

囲に入ります。

詳しくは役場町民室におたずねください。



- 育英資金貸付（無担保）
- 用途 子弟の大学、短大、高校の入学資金、在学資金
- 融資金額 子弟一人につき一〇万円以上四〇万円まで（一〇万円）最高八〇万円まで。但し退職金の範囲内とし、退職金が不足する場合は担保を必要とします。

- 合事務所
- 生活商工課（電〇二九一（三）四一一一）

駐在所だより

防犯は基本の

カギかけから

昨年、麻生警察署管内で家の中に泥棒に入られた件数が一三〇件。このうち、開け放し、カギなし、カギ忘れなど戸締りをしなかったために被害を受けたのが七〇件です。

半数以上がカギをかけずに泥棒に入られたことになりました。

カギかけは防犯の基本です。外出するときとはたとえわずかの時間でも必ずカギをかける

泥棒撃退には
音と光と
キーロック



十二月三十一日は

工業統計調査の日

「工業統計調査」は工業の国勢調査ともいえるもので、明治四十二年から実施され、毎年十二月三十一日現在で行われております。

皆さまの事業所に調査員が記入依頼にお伺いいたします

から、年末年始のお忙しいところお手数ですが、調査票の記入提出について御協力くださいますようお願いいたします。

なお、「工業統計調査」についての御照会役場企画課へお願いいたします。

二等陸海空士 自衛官を募集

防衛庁では、次により自衛官を募集しています。採用になりますと、特別職国家公務員として身分が保障され、また自衛隊生活で修得する技術・強い責任感・強健な身体は社会において高く評価されております。ぜひ応募してください。

- ▼募集人員 各月三十名前後（昭和五十一年三月まで）
- ▼応募資格（一八歳～二五未満のもの）
- ▼詳しくは役場町民室へ

郵便局からのお願い



年賀状を

お出しになるときは

あらかじめ方面別に区分けを

年賀状をお出しになるときは、方面別（郵便局でお願いしている分け方、例えば「町内あて」「自府県あて」「他府県あて」など）に分け簡単な紙札をつけ十字に束ねてお出してください。

赤で「年賀」の表示を

お年玉つき年賀はがき以外のうつつのはがきを年賀状として出されるときは、表面に「年賀」と朱書してください。この表示がないと、普通郵便物といっしょに年内に配達されることがあります。

封書の年賀特別取扱はありません

封書による年賀状は、年賀はがきのように「元旦にまとめて配達する取り扱い」をしていませんのでご注意ください。

ご存じですか○番サービス
楽しいおしゃべりがあな
たを待っています。
（〇二九二）三〇〇〇
○番で料金は無料です。
—石岡電報電話局—

季節の話題

水仕事

寒くなると台所の仕事はつらいものです。ちよつと水に手を入れただけで、からだ中に水のつめたさが伝わってくるような気がします。「宿命」といっては少しオーバーですが、主婦と水とのかわり合いは、むかしから切り離せません。炊事もせんたくもみんな水が相手です。

とくに寒くなると、この水仕事で手が荒れる方は冬を一番いやがります。たしかに荒れ性の方は水仕事にが手でしょう。しかし水仕事は直接手を荒れさせているというのはいちがいに思いません。水仕事をしている最中は決して荒れるものではないと思います。要はあとの手入れが問題なのです。

ひと仕事終わったら、よく水分をふきとって、まめにハンドクリームなどをつけて、失った脂肪分を補っておくことが大切です。あとの手入れといっても、においの強い化粧料を含んだクリームは避けたほうが無難です。というのは、そのあとすぐ包丁を使っ

除夜の鐘

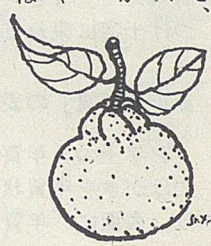
たり、食器にさわらなければならぬようなとき、においをうつす心配があります。

クリスマスから大みそかまでの日の短いこと、まるで追いかけていられるようです。お子さんたちは冬休みで「もういくつ寝るとお正月」などとはしゃいでいるのに、お母さんばかりがなんでせかせかと動きまわっているのでしょうか。お子さんたちにとってはなんともふしぎな光景です。どんな小さなお子さんでも、お母さんがいそがしそうにしているときには、お手伝いをしてみたい気持ちがあるものです。「ボクの大事な本を相談しないで片づけてしまった」と、子どもには子どもの理屈があるものです。大みそかにはぜひお子さんにも手伝ってもらって手際よく用事をすませるようにしましょう。お母さんも、大みそかには早めに台所仕事を切りあげ、家族そろってテレビを見たり、年越しそばをいただいたり、春の遊びの楽しさをお話ししてください。除夜の鐘の音を聞きながら、心を澄まして正月を迎えましょう。

くらしの豆知識

ジャムを

手作りで



ジャムは果物に砂糖を加えて煮つめゼリー状にしたもので、家庭でも簡単につくれます。しかし滑らかな舌ざわりのおいしいジャムをつくるのはなかなか難しく、酸とペクチン（果実中に含まれている）と糖、この三要素がバランスよく配合されてなければなりません。

おいしい手作りジャムのコツをご紹介します。

○ジャムに適した果実は果肉がゼリー化するのに必要な酸とペクチンを豊富に含んだものがよく、新鮮な果実ほど多く含んでいます。リンゴ、柑

きつ類、スモモ、アンズなどがむき、ナシやモモはあまりむいていません。また、ペクチンが多く含んでいるのにゼリー化しない時は、酸の不足が原因ですのでレモン汁を加えるとよいようです。

○砂糖はグラニュー糖がよく果実の三分の一から三分の二くらいが普通ですが、保存効果を考えると糖度六〇パーセント以上が望ましいようです。

○ジャムの煮つめ加減をみる方法としては、水一杯入れたコップにジャムを一滴落としてみて、底まで落ちてから散るような状態がちょうどよく底まで落ちて固まった状態は煮つめすぎです。

“郷土の歌”として愛聴を！

「玉造音頭」のレコードが完成

10月号「広報たまつくり」ですすでにお知らせしました。このほど『玉造音頭』のレコード製作が完成し発売になりました。

定価は一枚五百円で、区長・班長さんを通じて購入いただくことになりますが、役場町民室・教育委員会及び中央公民館でもその場でお買いもとめになれます。皆さんの“郷土の歌”としてぜひ愛聴していただきたいと思ひます。

誕生おめでとう
おめでとうございます



出産

〈10月〉

ところ 保護者

羽生	横田	利夫	続柄
八木	今泉	久栄	長男
竹の	伊藤	昭雄	三男
藤井	仲田	達雄	二男
捻木	森作	稔弘	二女
西蓮寺	関口	久男	長女
諸井	堀清	四郎	長女
横須賀	新堀	正信	二女
沖洲	田中	勝之	長男
谷島	野本	敏男	三男
緑ヶ丘	北村	秀敏	長女
緑ヶ丘	浜田	博夫	二女
西蓮寺	小島	実博	二男
			長女

死亡

〈10月〉

武田	甲市郎	八三	年令
兼平	千三郎	四七	と
郡司	彦兵衛	七八	柄
関野	真佐夫	四五	諸
高野	真佐夫	六〇	八
荒木	藤吉	八四	木
滝崎	忠四郎	八一	浜
			沖
			根
			古
			屋
			柄
			貝

編集後記

○一目合ったそのときは、目つきのきびしさに引かれ、次の日はあつけなく振られ、そして再会したときには、なつかしさと安堵感でためいきが、気のもみようは人間のつき合いと同じ、でも相手の気持を察するには時間がいります。しかし、それにしても愉快な「たぬき騒動」の一週間でした。

○ことしの冬はいつになく「暖冬」で、からつ風が吹かないうちに新しい暦をめくりそうな気はいい。生活するうえにおいて暖かい冬は結構なことですが、農作物等に与える影響も考えるところとばかりもいえないようです。

○ことしもあとわずかを残すばかりとなりました。ふりかえってみると、この一年間、担当者としていつも反省と後悔ばかりが残り、町民の皆さまに満足していただける『広報たまつくり』であつたかどうか心もとないところです。来年も皆さまのおしかりを受けながら読みやすい広報紙をめざしたいと思ひます。どうぞ皆さま楽しい正月をお迎えください。

昭和三十八年一月二十三日第三種郵便物 可 定価一〇円

発行人 茨城県玉造町長

企画課

印刷

株式会社印刷